

R 7 学校評価結果（教職員）

- ① 中央小は、児童にとって楽しい学校であるように様々な行事や学校運営、個々の学習指導等の工夫がなされている。
- ② 中央小は、日々の授業内容改善のための校内研修や教職員相互の意見交換や学年での教材研究などの協力体制が整備されている。
- ③ 中央小は、児童に基礎的な学力向上について、共通理解にもとづき積極的な取組を行っている。
- ④ 中央小は、児童の体力の向上について共通理解にもとづき、積極的な取組を行っている。
- ⑤ 中央小は、校外学習を含め、見学・調査等の体験的な学習活動が適切に設定されている。
- ⑥ 中央小は、児童の評価・評定について、共通理解にもとづいた適切な評価規準・評定基準を設定している。
- ⑦ 中央小は、道徳や特別活動、生活指導等を通じ、共通理解にもとづいて、児童の道徳心が育まれるような取組を行っている。
- ⑧ 中央小は、中央小のきまりなど共通理解にもとづいて、児童の生活指導を適切に行っている。
- ⑨ 中央小は、共通理解にもとづいて、児童の安全を守る体制づくりや指導を行っている。
- ⑩ 中央小は、児童の年間５０冊、５０００ページ以上の読書が達成できるような取組が推進されている。
- ⑪ 中央小は、教育相談日や保護者面談等を通じて、積極的に保護者の意見を聞き取り、家庭と連携していく体制ができています。
- ⑫ 中央小は、学校だよりや学年だより等の手紙、連絡メール等を通じて、学校生活の様子や学校行事の予定などについて適切に連絡している。
- ⑬ 中央小は、教育活動を進める上で、施設・設備がきちんと整備されている。
- ⑭ 学校長は、教職員に向け周知・支援・管理・指導を行い、学校教育目標の具現化に向けリーダーシップを発揮している。
- ⑮ 教頭は、教職員に向け、周知・支援・管理・指導を行い、教職員の意図を汲み、学校運営に参画している。
- ⑯ 教務主任は、教職員に向け、周知・支援・指導を行い、スケジュール調整等のチームワーク行動をとっている。
- ⑰ 中央小の年間指導計画は使いやすく、かつ実現可能で実際の計画となっている。
- ⑱ 中央小の校外学習の学年行事の計画等は、日期的に無理なくかつ、児童の学習にとって適切なものとして位置づけられている。
- ⑲ 中央小では、学年会、及び教材研究の時間、子供と向き合う時間が確保されている。
- ⑳ 中央小では、担任、専科、日本語指導、少人数指導が連携して、児童の実態を共有し、児童の実態に応じた教育活動を行っている。
- ㉑ 中央小では、教育活動に必要な教材・教具・ICT器具等が整備されている。
- ㉒ 中央小では、管理職、主任等への連絡・報告・相談体制が確立され、組織的な対応がなされている。
- ㉓ 中央小の校務分掌は過度に、一部の教職員に負担を強いるものではなく、各職員の状況に応じてある程度公平に分担されている。
- ㉔ 中央小の職員会議等の回数・内容は適切であり、またC4th等を活用し、効率的に短時間で運営されている。
- ㉕ 中央小では、金銭・会計事故等を防止するための十分な手立てがとられている。
- ㉖ 中央小では、個人情報漏洩等の事故を防止するための十分な手立てがとられている。

